

施策分析シート（平成19年度）

No1

施策名	地域と連携した学校づくり	施策No	04-09	部課名	教育委員会事務局指導室		
				課長名	田淵 貢造	内線	3380
関連部課名	教育委員会事務局社会教育課						
行政評価事業体系	分野	子育て教育都市[]					
	政策	心豊かにたくましく生きる子どもの育成と生涯学習社会の形成[04]					
目的	地域の信頼に応えることのできる開かれた学校づくりを一層推進していくため、学校運営を支援する。						
指標	施策の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		16年度	17年度	18年度	19年度	目標値 (28年度)	
	小学校の児童数に対する保護者の参観率	103.0%	106.0%	110.0%	110.0%	120.0%	
	中学校の生徒数に対する保護者の参観率	103.0%	70.0%	75.0%	80.0%	90.0%	
	小学校の保護者以外の参観率		9.6%	10.0%	10.0%	30.0%	
	中学校の保護者以外の参観率		48.5%	50.0%	50.0%	50.0%	
	学校評議員会開催回数	33校 各4回	33校 各4回	33校 各4回	33校 各4回		
現状と課題（指標分析）	地域や保護者に対して学校の状況を伝えたり、保護者や地域の考えを把握するために、保護者はもとより地域住民が学校の授業や教育活動を気軽に参観できるように学期ごとに全校が一斉に公開週間を設けている。さらに、地域に積極的に教育活動の成果を示していくことが課題である。						
今後の方向性	[平成19年度] 全体としては、参加数が増加しているが、小学校は、ほとんどが小学校の参観であり、地域の参観が少ない。中学校は、保護者の参観が少ない。学校公開期間中に、保護者参加型の授業の工夫や土・日の公開や小・中学校の日程をずらす等、検討が必要である。						
	[平成20年度以降] 外部評価を積極的に取り入れて、学校改善を進める必要がある。						

施策の分類		分類についての説明・意見等
前年度設定	今年度設定	
B	B	開かれた学校づくりを目指し、保護者に対する説明責任を果すとともに、学校経営の透明性と信頼性の向上を目指す。

施策分析シート（平成19年度）

No2

施策を構成する事務事業の分類						
事務事業名	事務事業 No	決算額（千円）		施策推進のための 分類		分類についての説明・意見等
		17年度	18年度	前年度 設定	今年度 設定	
P T A 研修会	12-04-05	604	665	C	C	保護者と学校の連携を図り、保護者の意識啓発等を行うため必要な事業である。
学校評議員会	12-06-01	455	499	B	A	外部評価の導入を図る。
学校公開	12-06-02	554	629	B	B	教育活動の充実に努め、開かれた学校を目指す。
合 計		1,613	1,793			